

2020 年度事業計画書

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本音楽財団

1. 方針

「音楽に関する事業を通じて、日本国内外の音楽文化の振興・普及」に寄与することを目的として公益目的事業を行う。

- (1) 楽器の保全
- (2) 楽器の貸与
- (3) 演奏会の開催
- (4) 音楽文化振興・普及のための助成
- (5) その他目的を達成するために必要なこと

2. 事業計画

(1) 楽器の保全

① 楽器の保守管理

当財団は、ストラディヴァリウス 19 挺、ガールネリ・デル・ジェス 2 挺、計 21 挺の弦楽器を保有しており、これらの世界の文化遺産ともいわれる弦楽器名器の保守保全については、次世代に継承する管理者の責務として、定期的な保守・保全に努める。

1) 楽器の定期点検

楽器を貸与する演奏家に当財団指定楽器商での年 4 回の定期点検を義務付け、うち 1 回は、当財団の楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル氏 (Andrew Hill、在イギリス) による点検とする。また、楽器商からの報告を受け、楽器の状態を把握し、楽器の管理に努める。

2) 大規模楽器修理

保有する楽器は、製作後約 300 年が経過し大規模な修理が必要な楽器が出てきているが、大規模修理の実施については慎重に検討し決定する。必要と判断された楽器ができた場合は、特定費用準備資金 (大規模楽器修理) を取崩し実施する。

3) 保有楽器に関する本の制作

保有する楽器の保全で得られた情報等を次世代に継承するため、保有楽器 21 挺の故事来歴や各楽器の写真を専門家の寄稿と共に掲載した本を制作する。本は国内のみならず海外の音楽関係の大学や施設等に寄贈するほか、本と同等の内容を当財団ホームページ等で広く一般にも公開する

② 楽器への保険等

1) 楽器保険の付保

万が一の事故に備え、保有する 21 挺の弦楽器には、日本の保険会社にて楽器保険を付保し、保険料の全額を当財団が負担する。

2) ATA カルネの携帯

楽器を国外へ持ち出す場合、外国の税関で免税扱いの一時輸入通関ができる通関用書類である「ATA カルネ」((一社)日本商事仲裁協会が発行)を取得し、被貸与者に楽器と共に携帯することを義務付ける。

3) ワシントン条約(CITES)適用除外証明書の携帯

ワシントン条約(CITES)の規制により、通関が認められない事例があるため、全ての保有楽器に対して、当財団の指定楽器商であるヒエロニムス・ケストラー氏(Hieronymus Köstler、在ドイツ)が発行するワシントン条約(CITES)適用除外証明書を被貸与者に楽器と共に携帯することを義務付ける。

(2) 楽器の貸与

当財団は、国籍を問わず、国際的な活躍を目指す若手演奏家に、保有する弦楽器名器を無償で貸与する楽器の貸与事業を実施している。

楽器の貸与については、年間を通してホームページ等で応募方法を告知し、原則として毎年3月に貸与申請を受け付けている。2018年度から開始した貸与に関しては、下記の区分で実施している。

| 区分 | 貸与期間 | 貸与楽器配分の目安 | 申請条件 | 貸与決定方法 |
|----|--------------|-----------|---|--------------------|
| A | 満7年以内 | 保有楽器数の70% | 申請年の9月1日時点で35歳以下の者(ケルテットは、4名の平均が40歳以下) | 楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁 |
| B | 満3年以内 | 保有楽器数の15% | 日本を拠点に演奏活動している者 申請年の9月1日時点で35歳以下の者(ケルテットは、4名の平均が40歳以下) | |
| C | 満1年以内 | 保有楽器数の10% | 具体的な演奏活動の目的がある者 (例:デビュー公演・周年記念公演・レコーディング・コンクール等) | 会長決裁 |
| D | 次期コンクール開催時まで | 保有楽器数の5% | エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者 | |

楽器の貸与先を選考する諮問機関である「楽器貸与委員会」(欧、米、アジアの有識者で構成)は、年1回開催している。2020年度は7月に東京での開催を予定する。

(3) 演奏会の開催

当財団楽器の被貸与者による演奏会(12公演)を下記のとおり実施する。

他団体との協力公演を実施することにより、単独ではできないことが可能になり、今までにないものを取り込むことができ、恩恵を受ける人も増やすことができる利点等を生かし、本年度も、積極的に協力団体との公演を予定する。

① 演奏会の定期開催(4公演)

1) 浦安市との共同事業

2016年に浦安市と締結した協定をもとに双方が保有する音楽資源を有効に活用し、浦安市との共同事業として定期的に演奏会を開催している。入場料収入の全ては、浦安市の文化

芸術振興に使われる「浦安市文化芸術振興基金」に寄付する。

「大谷康子ヴァイオリン・リサイタル」

日 時 2020年4月26日(日)14:00 開演
会 場 J:COM 浦安音楽ホール (300席) (千葉県浦安市)
主 催 浦安市、(公財)日本音楽財団
共 催 J:COM 浦安音楽ホール
助 成 (公財)日本財団
出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj” 使用
佐藤卓史 ピアノ
入場料 市民優先販売 4,000 円、一般 5,000 円 (入場料収入の全額を寄付)
寄付先 浦安市文化芸術振興基金

2)-4) 「ストラディヴァリウス・コンサート 2020」

当財団よりストラディヴァリウスを貸与されている 10 名以上の演奏家による「ストラディヴァリウス・コンサート」(英語名: Encounter with Stradivari)は 4 年に一度開催している。

ストラディヴァリウス 10 挺以上を一堂にした演奏会は、世界的にも貴重な機会であり、当財団は「ストラディヴァリウス・コンサート」を定期開催することにより、名器の音色と質の高いクラシック音楽を披露し、各開催地におけるクラシック音楽の振興・普及に寄与する。

2020 年度は福岡、大阪、東京の 3 都市で開催する。福岡、大阪公演は室内楽形式、東京公演はオーケストラとの共演として下記のとおり実施する。入場料収入の全てを各開催地の福祉並びに音楽活動を行う団体に寄付することで、その地域に貢献するとともに寄付文化の醸成を図る。

出 演

| | |
|---------------------------|---|
| Goldmund Quartet | Stradivarius “Paganini Quartet”使用 |
| Florian Schötz | Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用 |
| Pinchas Adt | Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用 |
| Christoph Vandory | Stradivarius 1731 Viola “Paganini”使用 |
| Raphael Paratore | Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用 |
| Veronika Eberle | Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”使用 |
| Suyoen Kim | Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”使用 |
| Benjamin Beilman | Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用 |
| Svetlin Roussev | Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”使用 |
| 諏訪内晶子 | Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”使用(東京のみ) |
| Arabella Miho Steinbacher | Stradivarius 1716 Violin “Booth”使用 |
| Ji Young Lim | Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”使用 |
| 五嶋 龍 | Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”使用(福岡、大阪のみ) |
| Ray Chen | Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用 |
| Yuki Manuela Janke | Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用 |
| Pablo Ferrández | Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”使用 |

(当財団楽器被貸与者 15 名)

| | |
|--------|--------------|
| 江口 玲 | ピアノ(福岡、大阪のみ) |
| 山田和樹 | 指揮(東京のみ) |
| 東京交響楽団 | オーケストラ(東京のみ) |

2) 福岡公演:室内楽形式(プログラム A)

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 2020年9月6日(日)15:00 開演 |
| 会 場 | 福岡シンフォニーホール (1,867 席) (福岡県福岡市) |
| 主 催 | (公財)日本音楽財団、(株)西日本新聞社 |
| 共 催 | (公財)アクロス福岡 |
| 助 成 | (公財)日本財団 |
| 協 力 | (特非)SOS 子どもの村 JAPAN、(地独)福岡市立病院機構福岡こども病院 |
| 後 援 | 福岡県、福岡市、NHK、(株)朝日新聞社 |
| 入 場 料 | S 席 8,000 円、A 席 6,000 円、B 席 4,000 円 (入場料収入の全額を寄付) |
| 寄 付 先 | (特非)SOS 子どもの村 JAPAN、 (地独)福岡市立病院機構福岡こども病院 |

3) 大阪公演:室内楽形式(プログラム A)

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 2020年9月8日(火)19:00 開演 |
| 会 場 | 住友生命いずみホール (821 席) (大阪府大阪市) |
| 主 催 | (公財)日本音楽財団、 住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団] |
| 助 成 | (公財)日本財団 |
| 後 援 | 大阪府、NHK、(株)朝日新聞社 |
| 入 場 料 | S 席 8,000 円、A 席 6,000 円 (入場料収入の全額を寄付) |
| 寄 付 先 | (一財)住友生命福祉文化財団 |

4) 東京公演:オーケストラとの共演(プログラム B)

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 2020年9月10日(木)19:00 開演 |
| 会 場 | サントリーホール大ホール (2,006 席) (東京都港区) |
| 主 催 | (公財)日本音楽財団、サントリーホール |
| 助 成 | (公財)日本財団 |
| 協 力 | (特非)マギーズ東京 |
| 後 援 | (公財)港区スポーツふれあい文化健康財団(申請中) NHK、(株)朝日新聞社 |
| 入 場 料 | S 席 10,000 円、A 席 8,000 円、B 席 7,000 円、C 席 4,000 円 (入場料収入の全額を寄付) |
| 寄 付 先 | (公財)サントリー芸術財団サントリーホール、(特非)マギーズ東京 |

② 日本オーケストラ連盟との共同事業(5 公演)

5)-9) 日本オーケストラ連盟・日本音楽財団共同事業

2017 年度より 3 年間、名古屋フィルハーモニー交響楽団と当財団の共同事業を実施してきたが、本年度から 3 年間は、日本オーケストラ連盟との共同事業として、連盟の会員(正会員:25 団体、準会員:12 団体)である各地のオーケストラと毎年度 4 公演程度、当財団の楽器の被貸

与者がソリストとして出演するコンサートを実施する。これらの各演奏会には学生を招待し、クラシック音楽をより身近に感じてもらう機会を提供する。

本事業で緊密に連携することにより、双方が保有する音楽資源を有効に活用した事業を推進することができる。当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、学生を公演に招待することにより、若者のクラシック音楽ファンの拡大に寄与する。

2020年度は下記のとおり、当財団の楽器の被貸与者2名が出演し、下記の5公演を共同事業とする。当財団は、ソリスト(被貸与者)の招聘に係る業務及び費用を負担する。

5) セントラル愛知交響楽団 第179回定期演奏会

日 時 2020年11月20日(金)18:45開演
会 場 三井住友海上しらかわホール (693席)(愛知県名古屋市)
主 催 (一社)セントラル愛知交響楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 角田鋼亮
出 演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用

6) 東京都交響楽団 プロムナードコンサートNo.389

日 時 2020年11月23日(月・祝)14:00開演
会 場 サントリーホール大ホール (2,006席)(東京都港区)
主 催 (公財)東京都交響楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 小泉和裕
出 演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用

7) オーケストラ・アンサンブル金沢 第435回定期公演

日 時 2020年11月26日(木)19:00開演
会 場 石川県立音楽堂コンサートホール (1,560席)(石川県金沢市)
主 催 オーケストラ・アンサンブル金沢
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 Günter Pichler
出 演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用

8) 群馬交響楽団 第564回定期公演

日 時 2021年1月30日(土)15:00開演
会 場 高崎芸術劇場 (2026席)(群馬県高崎市)
主 催 (公財)群馬交響楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 小林研一郎
出 演 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用

9) 大阪交響楽団 第249回定期公演

日 時 2021年2月5日(金)19:00開演

会 場 ザ・シンフォニーホール (1,704 席) (大阪府大阪市)
 主 催 (公社)大阪交響楽団
 協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指 揮 太田 弦
 出 演 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用

③ 新しいファン層拡大を目的とする演奏会の開催 (2 公演)

クラシック音楽に馴染みのない青少年を対象にクラシック音楽をより身近に感じてもらうきっかけ作りとして、演奏家によるトークなどを交えながらクラシック音楽の名曲に触れる機会を提供し、新しいファン層の拡大によるクラシック音楽の振興・普及を図る。2020年度は、以下の2公演を実施する。

10) 北九州市との共同事業(青少年のためのコンサート)

日 時 2021年3月21日(日)(開演時間未定)
 会 場 北九州市立黒崎ひびしんホール(822席)(福岡市北九州市)
 主 催 北九州市、(株)黒崎コミュニティサービス、(公財)日本音楽財団
 共 催 北九州市教育委員会
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 当財団楽器被貸与者(調整中)
 ピアニスト(調整中)
 北九州市ジュニアオーケストラ(一部共演)

11) 鳥取県との共同事業(青少年のためのコンサート)

日 時 2020年10月19日(月)(14時開演)
 会 場 米子公会堂(1,120席)(鳥取県米子市)
 主 催 (公財)鳥取県文化振興財団、(一財)米子市文化財団、
 (公財)日本音楽財団
 共 催 米子市、鳥取県教育委員会
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj” 使用
 小山さゆり ピアノ

④ 若手育成を目的とする演奏会の開催(1 公演)

当財団の楽器を貸与した若手演奏家の日本デビューを支援する。音楽関係者、メディアを対象に一部を招待する。一般販売した入場料収入の全てを寄付する。

12) 「マリア・ドウエニャス ヴァイオリン・リサイタル」

日 時 2020年7月8日(水) 19:00 開演
 会 場 サントリーホールブルーローズ(小ホール) (380席)(東京都港区)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 María Dueñas Guarneri del Gesù 1736 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ

入場料 S 席 4,000 円、A 席 3,000 円 (入場料収入の全額を寄付)
寄付先 NPO 法人「子どもに音楽を」

(4) 音楽文化振興・普及のための助成

当財団は、音楽の分野において公益を目的とした事業へ助成を行い、音楽文化の振興と普及に努めている。助成事業の募集については、前年度中に当財団のホームページ上で公開する。また、助成事業の審査にあたっては、諮問機関である「事業運営委員会」で詳細を検討のうえ決定する。

2020 年度は、① 弦楽器演奏における、音楽的、技術的向上に資する事業 ② より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業を対象に助成する。

助成対象事業数 10 事業程度
助成事業実施期間 2020 年 4 月から 2021 年 3 月まで

(5) その他

ランチタイムコンサートの開催

広報活動の一環としてランチタイムコンサートを実施する。

プロを目指している若手演奏家に演奏の場を提供するとともに、来場者に無料で音楽を楽しんでもらう。

出演者は公募を原則とし、書類と動画審査により決定する。

開催 原則毎月第 2、第 4 水曜日 12:10～12:50
会場 日本財団ビル 1 階ロビー(東京都港区)
出演者 音楽大学、音楽学校などでポスター、チラシ並びに財団ホームページ等で半期ごとに募集し決定する。(弦楽器の演奏を主とするが、演奏楽器・分野・演奏形態及び人数の制限はしない)

以上